

本プログラムの進捗管理に用いる個別取組工程表について、4年間の取組工程や進捗状況を視覚的に分かりやすくするため、当初の仕様から様式の改善を図りました。工程表の見方については下記の【凡例】をご参照ください。

【凡例】

- 各工程表は「第2期行財政改革プログラム（平成26年5月策定）」に掲げる3つの重点分野（事務事業改革・市の関与の見直し・業務プロセス改革）と5つの推進分野（ファシリタマネジメンツの推進・歳入改革・組織改革・公営企業改革・外郭団体改革）からなる8つの分野に体系分けをして掲載しています。
- 「項目」欄には、「第2期行財政改革プログラム」における個別取組の項目番号および項目名を記載しています。
「第2期行財政改革プログラム」の策定以降に新たに取り組むこととなった取組については、以下の通り付番をしています。
 - ・既存の個別取組と関連性が認められる個別取組については、既存の個別取組の項目番号の後に枝番号を付しています。
 - ・上記以外の新たな個別取組については、新たに番号を付しています。
- 「実施内容」欄には、「第2期行財政改革プログラム」の計画期間（平成26年度から平成29年度）における取組内容を記載しています。
- 「目標」欄は、平成26年5月に設定した目標を記載しています。
（各年度の新規取組については取組の初年度に設定した目標を記載しています。）
- 「工程」の「当初予定」欄には、計画期間における年次ごとの取組予定工程を記載しています。
- 「工程」の「進捗状況（実績・見込）」欄には、平成29年度末時点での実績を記載しています。
- 「数値目標」欄には、「目標」のうち数値目標があるものについて、見込（＝目標値）と実績を記載しています。

- 「実績」欄には、平成 29 年度の実績について記載しています。
- 「単年度の効果額見込及び実績」欄には、取組により財政的効果があるものについて、年度ごとの効果額の見込と実績を記載しています。
- 「評価」欄では、取組の進捗状況に対する評価と効果額の達成状況に対する評価による総合評価で、所管課が A、B、C の 3 段階で自己評価しています。
(A：目標を上回って達成、B：目標を概ね達成、C：未達成)
また、取組状況に対し課題、改善策がある場合は併せて記載をしています。